

令和8年7月30日

件名 市庁舎21階展望ロビーアートワーク展示について

市庁舎21階展望ロビーは、年間を通じて一般開放し、多くの方々に利用していただいております。

高崎市では、21階展望ロビーへ来庁された皆様に芸術を身近に感じていただこうと、21階展望ロビーの北側壁面をアートワーク展示スペースとして利用しています。

今回は、本市在住の駒井伸子さんの日本画を展示します。

展示期間は、令和8年8月4日（火）午後1時から令和8年11月30日（月）午後1時までを予定しています。

※作家の略歴等は、別添資料をご参照ください。

【本件に関する問い合わせ】

財務部管財課

電話：027-321-1215

作家資料

令和 8年 6月25日 作成

展 示 日 程		令和8年8月4日(火) ～ 令和8年11月30日(月)	
(ふりがな) 氏 名		こまい のぶこ 駒井 伸子	電話
住 所			携帯
生 年 月 日			
加入団体・役職等		日展会友、日春展会友、県展常任理事、市民展審査員	
師		院展会友 狩野 和夫先生、日展会員 山下 保子先生	
画 歴 ・ 職 歴 等	2000年	県展 知事賞	
	2007年	日展会員 山下 保子先生師事	
	2009年	日展 初入選	
		以後8回 現在に至る	
	2026年	(有)駒井技研 会社役員	
	その他	塚沢公民館、城東公民館で日本画教室	
		西明屋フレッセイ前にて日本画教室	

自己紹介	絵にはまったく縁のない人生でした。軽い気持ちで40過ぎ頃始めたのですが、50才過ぎてから割とやる気になりました。市民展、県展は割とうまくいったと思いますが、日春展、日展は少し大変でした。65才で山下保子先生の指導を受けました。熱い指導のおかげで現在に至っております。日本画というものがなくならないことを祈っております。
------	--

展示作品紹介	「ビクトリア」は、初入選だけにうれしかったです。 「語らい」は、インドのきれいな人でした。 「工場の娘」は、金属加工業をしていますので、自分の心の中に記憶しておきたかったのです。 「妹のおでかけ」は、モデルは高崎の学生さんでした。絵を描く私にとっては大事な人でした。今は学校の先生だと思います。 「待ち合わせ」は、恐竜展をみてイメージがわきました。新宿の地下街との組み合わせです。 「染色工芸館にて」は、友達と染色を習いに行きました。春を染めるという題でした。80才を過ぎていました。			
見学者の展示作品の撮影等や報道機関へのデータの提供等	許可する 許可しない 一部許可する（下記作品番号）			
	（ふりがな） 作 品 名	大きさ(号、縦×横(cm))	縦型 横型	制作年
1	（びくとりあ） 「ビクトリア」	214×175	縦型	2009
2	（かたらい） 「語らい」	190×210	横型	2013
3	（こうじょうのむすめ） 「工場の娘」	195×190	縦型	2018
4	（いもうとのおでかけ） 「妹のおでかけ」	225×190	縦型	2021
5	（まちあわせ） 「待ち合わせ」	185×213	横型	2023
6	（せんしよくこうげいかんにて） 「染色工芸館にて」	215×170	縦型	2024

※ 作品名には、「ふりがな」をふってください。